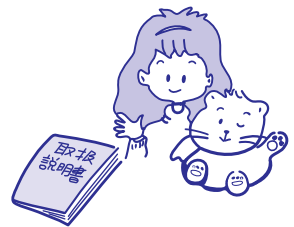


安全上のご注意

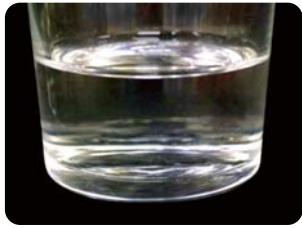
取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。



不良灯油を使わないで!

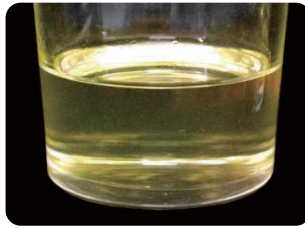
不良灯油(変質灯油・不純灯油)は、絶対に使用しないでください。異常燃焼や故障の原因になります。

不良灯油の見分けかた



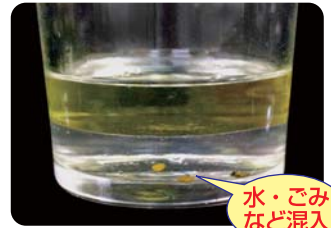
◆色が着いていない

- 透明である
- 不純物の混入がない
- 灯油の臭いがする



◆うす黄色になっている ◆すっぱい臭いがする

- 昨シーズンより持ち越した灯油
- 温度の高い場所で保管した灯油
- 日光のあたる場所で保管した灯油
- 乳白色のポリタンク(水用)で保管した灯油
- 容器のふたが開けてあった灯油



◆水が混入した場合は 水が下に溜まる

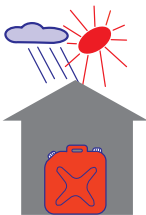
- 水やごみなどが混入した灯油
- ガソリン、軽油、シンナー、機械油、天ぷら油などが混入した灯油
- 灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- 水抜剤や助燃剤を添加した灯油

※保管状態によっては、色が着いていなくても変質灯油になっている場合があります。

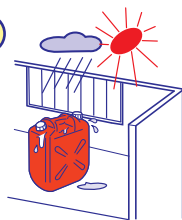
正しい灯油の保管方法

◆火気・雨水・ごみ・高温・日光を避けた場所で保管する。(翌シーズンに持ち越さない)

良い例

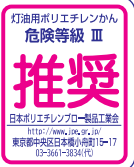
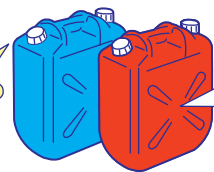


悪い例



◆紫外線を通しにくい色付の灯油用ポリタンク(推奨マーク付)を使用する。
乳白色のポリタンク(水用)は使用しない。

ふたはしっかり閉める



給油時の注意

ガソリン厳禁



必ず灯油をご使用ください。火災の原因になります。

油漏れ確認

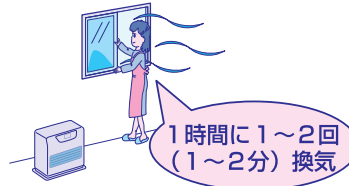


漏れを確認

火の気のないところで、給油口を下にして、油漏れのないことを確認してください。火災のおそれがあります。

使用時の注意

換気必要



1時間に1~2回(1~2分)換気

一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。換気するときは、換気扇を使用したり、2カ所以上の開口部を設けると効率よく換気ができます。

スプレー缶厳禁



熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。

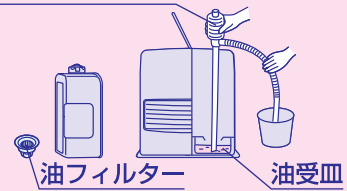
新しい灯油を使いましょう

◆不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用したときは次の処置を行なってください

- ①カートリッジタンクや油受皿内の灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内、油フィルターを2～3回洗う(油フィルターは乾燥させる)。
 - ②着火・消火を5回程度繰り返す。そのとき少し臭いがします。換気を十分に行なってください。
- ※処置を行なっても直らないときは修理が必要となりますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

<灯油の抜きかた>

市販の給油ポンプ



◆水が混入したときの確認と処置のしかた

症状：カートリッジタンクに灯油があるのに給油サインが点滅する → 油フィルターに水が混入している
途中消火する(E02、E03) → 油受皿内に水やごみなどが混入している

- ①油フィルターを取り出して水が混入しているかを確認する。
- ②カートリッジタンクや油受皿内の灯油を抜き、油フィルターは、きれいな灯油ですすぎ洗いし、よく乾燥させる。

<水混入の確認のしかた>



灯油が連続的に落ちる。
(少量の灯油は残ります)

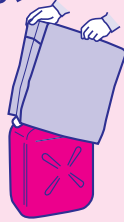
灯油の落ちが悪い。
または全く落ちない。

カートリッジタンクに直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露によりホームタンクやカートリッジタンクに水がたまり、油フィルター・油受皿内に流入することがあります。

◆灯油の保管のしかた

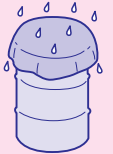
<ポリタンク用カバーを使用する>

- シーズン中に使用する灯油の変質を防ぐには、市販の紫外線を通しにくい素材でできたポリタンク用カバーを使用することをお奨めします。



<屋外でのドラム缶の保管は控える>

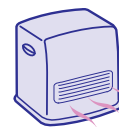
- ドラム缶の栓のすき間から水が混入したり、さびが発生します。やむなくドラム缶で保管するときは、カバーを掛けるなどしてください。
- 給油時は、水・さびなどの混入がないことを確認してください。



シリコン配合商品を使うときの注意

◆「ファンヒーターの故障の原因になる」ことが表示されているヘアケア商品をファンヒーターと同時に使用しない

- 洗面台などで洗い流さないトリートメントなどのヘアケア商品を塗布され、乾かさずにファンヒーターを使用中の部屋に移動された場合も故障の原因となりますのでご注意ください。
- ご使用になるときは、ファンヒーターの運転を一時的に停止し、使用後は換気を十分に行なってから運転を再開してください。
- 注意表示がなくても成分に「○○シロキサン」や「○○メチコン」などと記載されているヘアトリートメントなどの化粧品やシリコンが配合されている商品も同時使用は控えてください。
例)化粧品類、衣類の防水剤・柔軟剤、家具などのつや出し剤・保護剤など



禁止

日常の点検・手入れをお忘れなく

◆こまめにお手入れをする

- 燃焼・温風空気取入口(ファンフィルター)：週に1回以上
 - 油フィルター：1カ月に1回以上
- ※未然に事故を防止するため、2シーズンに1回程度、お買い上げの販売店などに点検依頼されることをおすすめします(有料)。

